

平成 22 年 2 月 24 日

関係各位

京都大学大学院理学研究科
附属地球熱学研究施設長 竹村恵二

教員の公募について（依頼）

当研究施設では下記により教員（助教）を公募します。
つきましては関係の方々に周知いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 職種・人員： 京都大学大学院理学研究科 助教 （1 名）

2. 専門分野： 火山活動論または火山構造論研究分野

火山の活動や構造を、地震・地殻変動などの観測を通して総合的に理解する研究および教育を推進できる方

なお、理学研究科では、研究科附属施設の整備を進め、教育研究の高度化に資することとしてきた。本施設は、地球惑星科学専攻の一員として「水・熱フロー」をキーワードとした多目的野外観測拠点を形成し、活地球圏における物質とエネルギーの循環過程の理解を深めるとともに、京都キャンパスにおける地球熱学の基盤教育研究拠点を形成して若手研究者育成に努めてきた。これらの観点から、本施設が位置する九州地域の火山や熱的特性を活かした研究・教育や京都キャンパスでの教育・研究の進展に寄与できる方が望ましい。採用後は、大学院理学研究科地球惑星科学専攻の教育・研究に従事する。

3. 着任地・時期：

地球熱学研究施設、主な勤務地は火山研究センター（阿蘇：参考資料参照）
採用決定後、できるだけ早い時期

4. 応募資格：

博士学位を有すること（2010 年 3 月 31 日の時点で取得見込を含む）

5. 応募書類：

- （1） 履歴書 （氏名，生年月日，年齢，現住所，連絡先および e-mail，
高校卒業から最終学歴まで，職歴，資格等）
博士学位（名称，取得大学，取得年月日，論文名）
- （2） 研究業績目録
 - A. 査読のある論文や総説
 - B. 査読のない論文や総説
 - C. 著書
 - D. その他の出版物等で特に参考となるもの
- （3） 主な論文の別刷または著書 3 編以内（複写可）
- （4） これまでの研究経過（2000 字程度）

- (5) 今後の研究および教育についての計画と抱負 (2000 字程度)
- (6) 本人について参考意見を述べられる方 2 名の氏名・連絡先

6. 応募締切り：2010 年 4 月 5 日 (月) 必着

教員公募関係と明記し、簡易書留にて郵送すること

7. 書類の送付先および問い合わせ先：

〒874-0903 大分県別府市野口原

京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設 竹村 恵二

電話 0977-22-0713

e-mail takemura@bep.vgs.kyoto-u.ac.jp

* なお、選考過程で、選考委員会による候補者インタビューを実施することがある。

施設の概要はホームページ <http://www.vgs.kyoto-u.ac.jp/> をご覧ください

参考資料 (概要)

地球熱学研究施設では、地球上で最大規模の火山・地熱温泉活動地域のひとつである中部九州地域を巨大な実験装置とみなして、野外観測や物質科学的・理論的解析を行い、熱現象の総合解析を推進している。さらに、これらの結果を全地球規模で展開する同様の研究結果と合わせて、地殻表層からマントル・核にいたる熱構造と熱現象の解析を進め、総合科学としての「地球熱学」の構築を目指している。この基本理念に立脚し、専門分野の異なる研究者が弾力的に協力できるよう、大部門制 (地球熱学研究部門) を採っている。現在の人員構成は下記のとおりである。なお、別府および阿蘇の研究拠点に加え、研究科の教育・研究の観点から 2 名の教員が京都勤務についている。

施設長：教授 竹村恵二

別府勤務 (大分県別府市野口原)

准教授：大沢信二 (地球熱学・地球化学)

助教：川本竜彦 (実験地球化学)、柴田知之 (放射年代学) (4 月から京都勤務)、
山本順司 (同位体地球化学)

技術専門職員：馬渡秀夫

阿蘇勤務 (熊本県阿蘇郡南阿蘇村河陽 5280)

教授：鍵山恒臣 (火山物理学)

准教授：大倉敬宏 (火山物理学・地震学) (4 月から京都勤務)

助教：宇津木充 (火山物理学・地球電磁気学)、<本公募>

技術専門職員：吉川 慎

技術職員：井上寛之

京都勤務 (京都市左京区北白川追分町)

教授：竹村恵二 (地球熱学・第四紀学) (4 月から別府勤務)

准教授：古川善紹 (地球熱学) (4 月から阿蘇勤務)

施設運営協議会委員 (平成 21 年度)

山極壽一、淡路敏之、福田洋一、余田成男、町田 忍、平原和朗、北村雅夫、
小畑正明、竹村恵二、鍵山恒臣、大沢信二、古川善紹、大倉敬宏